

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	算数	6	5

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	116 日文
基礎・基本の 定着	<p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケースに入った10個のブロックのうち、見える個数と蓋で見えない個数を、挿絵を見て考え、「10は□と□」で書き出す。(8組…4と6は例示) ○「さくらんぼ」状に一方の数が示され、対応する10の補数を考えて書く。(8組…4と6は例示) ○さくらんぼの一方の数も自分で決め、対応する補数を書く。(3組) 	<p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケースに入った10個のブロックのうち、見える個数と蓋の下に透けて見える個数を、挿絵を見て考え、「10は□と□」で書き出す。(8組…4と6は例示) ○10になる組み合わせを順に並べたブロックの絵や数を見て、並び方や組み合わせのきまりを見つける。 	<p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○10になる組み合わせを順に並べたブロックの挿絵を見て、「□と□」やT字に仕切られた表の下端に10になる数の組み合わせを書き込む。(8組…1と9は例示) 	<p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケースに入った10個のブロックのうち、蓋の下に透けて見える個数を、挿絵を見て考え、「2と□で10」の□に書く(4組…4と□は一斉) ○順序良く並べられたブロックの挿絵を見て、「10は○と○」で書き込む。(9組) ○折込に組み合わせと並び方のきまりが、ドット図とブロック図とともにまとめて示されている。 	<p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おはじき入れの場面で、10個のおはじきのうち、円の中の個数と円の外の個数を数える。(2組) ○10になる組み合わせで色分けされ、順に並んだドット図を見て、10になる数の組み合わせを書き込む。(8組…1と9は例示) 	<p>【学習の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○10になる組み合わせを順に並べたブロックの挿絵を見て、「□と□」に10になる数の組み合わせを書き込む。(9組) ○ケースに入った10個のブロックのうち、見える個数と蓋で見えない個数を、挿絵を見て考え、「10は□と□」で書き出す。(8組…3と7は例示)
第1学年 「10の合成・ 分解」における 学習の流れと 習熟を図る活 動	<p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師が示したフラッシュカードの数字を見て10の補数を答える。 ○5列5行に並んだ数字を見て、10になる2つの数の並びを縦・横・斜めで見つけて囲む。 ○「おうちでさんすう」で、パパ抜き必要の10を作るトランプゲームを紹介している。 <p>【九九の読み…例 四九三六】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上中央揃えて、字幅を縮小せずにルビを表記している。 ○四九と36の字間は1字分ある。 	<p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5列5行に並んだ数字を見て、10になる2つの数の並びを縦・横・斜めで見つけて囲む。 ○「おうちでさんすう」で、パパ抜き必要の10を作るトランプゲームを紹介している。 <p>【九九の読み…例 四九三六】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上中央揃えて、字幅を縮小してルビを表記している。(6の段以降では縮小せず表記している。) ○四九と36の字間は2字分ある。 	<p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループで、パパ抜きの要領で10をつくるドット図カードゲームを行う。 ○4列4行に並んだ数字を見て、10になる2つの数の並びを縦・横・斜めで見つけて囲む。 <p>【九九の読み…例 四九三六】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上中央揃えて、字幅を縮小してルビを表記している。(6の段以降では縮小せず表記している。) ○四九と36の字間は2字分ある。 	<p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○神経衰弱の要領で10になる2つの数を見つける。 ○かるたの要領で10の補数を見つけて取る。 ○5列5行に並んだ数字を見て、10になる2つの数の並びを縦・横・斜めで見つけて囲む。 <p>【九九の読み…例 四九三六】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上右揃えて、字幅を縮小せずにルビを表記している。 ○四九と36の字間は1字分ある。 	<p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数やドット図を見て10の補数を答える。(4組) ○机の上に広げた数カードから、10になる2つの数を見つけて取る。 <p>【九九の読み…例 四九三六】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上中央揃えて、字幅を縮小してルビを表記している。(他の段でも同様に縮小して表記している。) ○四九と36の字間は2字分ある。 	<p>【習熟を図る活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師が示したフラッシュカードの数字を見てブロックを操作し、10の補数を答える。 ○机の上に広げた数カードから、10になる2つの数を見つけて取る。 ○5列5行に並んだ数字を見て、10になる2つの数の並びを縦・横・斜めで見つけて囲む。 <p>【九九の読み…例 四九三六】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四九の上にルビを表記している。 ○36の上中央揃えて、字幅を縮小してルビを表記している。(他の段でも同様に縮小して表記している。) ○四九と36の字間は3字分ある。
第2学年 「九九」におけ る基礎的・基本 的な知識・技能 を定着させる ための工夫	<p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4の段学習後の「九九のれんしゅう」のページに、九九のカードを使った一人練習2つと二人練習2つをまとめて示し、各段のページに、当ページ番号を示している。 ○全段学習後の「九九名人をめざそう」のページに、「答えの大きい方から」「途中から」「ばらばらに」読みやその記録カードを示している。 ○4の段学習後のページに、「九九ビンゴ」の仕方を示している。 	<p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2～7の段までの学習ページに、九九のカードを使った一人練習1つと二人練習5つを、一つずつ示している。 ○8の段では、ビンゴやカードゲームでの練習を促している。9の段と1の段では特に示されていない。 ○4の段学習後のページに、「かけ算ビンゴ」と九九カードゲーム2種の仕方を示している。 ○全段学習後の「おうちで算数」に、「かけ算しりとり」の仕方を示している。 	<p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての段の学習ページに、「九九のカードを作ってれんしゅうしましょう」とカードの表面と裏面の例を示している。具体的な練習の仕方は示されていない。 ○4の段学習後のページに、九九カードゲーム2種の仕方を示している。 ○巻末にかけ算ゲーム2種の仕方を示している。 	<p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4の段学習後の「九九のれんしゅう」のページに、九九のカードを使った一人練習2つと二人練習1つ、三人練習1つを、一つずつ示している。それらを「カードれんしゅう」のページにまとめて示し、5～9の段に当ページ番号を示している。 ○初めの5の段の学習ページで、巻末の切り取り教具「九九の円ばん」を使った練習を促している。 	<p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2～5の段までの学習ページに、九九のカードを使った一人練習2つと二人練習1つ、三人練習1つを、一つずつ示している。それらを「カードれんしゅう」のページにまとめて示し、5～9の段に当ページ番号を示している。 ○巻末の折込ページに切り取り式の九九マスターカードがあり、「上から」「下から」「ばらばら」読みを促している。 ○4の段学習後のページに、九九カードゲーム2種の仕方を示している。 ○巻末の折込ページに「九九ビンゴゲーム」の仕方を示している。 	<p>【九九の練習の仕方の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2の段の学習ページで、「九九のカードをつくってれんしゅうしましょう」とカードの表面と裏面の例を示している。全段学習後に、九九カードゲームでの練習を促している。 ○巻末の折込ページに切り取り式の九九マスターカードがあり、「上から」「下から」「ばらばら」読みを促している。 ○4の段学習後のページに、九九カードゲーム2種の仕方を示している。 ○巻末の折込ページに「九九ビンゴゲーム」の仕方を示している。

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林	116 日文
主体的に学習 に取り組む 工夫 第5学年 「平面図形の 性質」におけ る導入及び問 題解決的な学 習を実施する ための工夫 単元末におけ る興味・関心 を高める工夫	<p>【単元名】図形の角を調べよう ○図やイラスト等で日常の場面や既習を取り上げ、対話により単元の学習課題をつくる「単元プロローグ」がある。(1P) 円の半径を使ってかいたいろいろな二等辺三角形の角の大きさを調べる。</p> <p>【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○三角形の3つの角の大きさには、どのようなきまりがあるか、調べてみましょう。 ・いろいろな三角形をかいて、下の図のようにして3つの角の大きさの和をしらべましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさの和は、何度になりますか。 ・次のページの～さんの図を見て、～さんの考えを式に表し、説明しましょう。 【まとめ】 ○四角形の4つの角の大きさの和は、四角形を三角形に分けて考えれば求めることができる。四角形の4つの角の大きさの和は、360°になる。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形・六角形→七角形・八角形 【単元末の工夫】 ○対話により、単元全体の学習を振り返り、価値づけたり、次の学習を創出したりする「つないでいこう算数の目」がある。(1P)</p>	<p>【単元名】図形の角の大きさを調べよう ○イラスト等の場面から、問題や疑問を見いだす「新しい学習がはじまるよ」がある。(1P) 三角定規の3つの角の大きさの和を確認し、同じ三角定規2まいを使ってできる三角形の角の大きさを調べる。 【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○三角形の3つの角の大きさの和を、いろいろな方法で調べましょう。 ・いろいろな三角形をかいて、角の大きさを分度器ではかって調べましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさの和が何度になるか調べましょう。 ・～さん、～さん、～さんの考えの良いところや、似ているところについて話し合いましょう。 【まとめ】 ○四角形をいくつかの三角形に分けて、すでにわかっている三角形の性質を使うと、四角形の4つの角の大きさの和が360°であることを説明できます。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形・六角形→七角形・八角形 【単元末の工夫】 ○算数が社会で生かされていることを実感できる「ふくろう先生のなるほど算数教室」がある。(1～2P)</p>	<p>【単元名】三角形や四角形の角について調べよう ○イラスト等から、日常や算数の授業の中で疑問が生まれる場面、「?を発見」がある。(1P) 三角定規の3つの角の大きさの和を確認する。 【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○右の直角三角形で、Aの角を60°、50°、40°と小さくして、頂点Bを頂点Cに近づけます。このときの角の大きさについて調べましょう。 ・三角形の3つの角の大きさの和がどうなるか、話し合いましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさの和について、調べましょう。 ・四角形の4つの角の大きさの和は何度になりますか。いろいろな方法で調べましょう。 【まとめ】 ○どんな四角形でも、4つの角の大きさの和は360°です。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形→六角形→七～九角形 【単元末の工夫】 ○単元により生活の中で算数を役立てることが意識できる「深めよう 生活にいかす」がある。(1P)</p>	<p>【単元名】合同な三角形・四角形 ○身近な題材から問題を見出し、算数の問題としてモデル化する「どんな学習がはじまるのかな?」がある。(2P) 三角形をまっすぐにならべられるか、2種類の三角形で考える。 【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○三角形の3つの角の大きさには、どんなきまりがあるか調べましょう。 ・いろいろな三角形で3つの角の大きさの和が何度になるか調べましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさには、どんなきまりがあるか調べましょう。 ・～さんの考えを説明しましょう。 【まとめ】 ○四角形の4つの角の大きさの和は360°です。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形→六～八角形→十角形 【単元末の工夫】 ○単元で学習したことを日常生活に活用する「学んだことを使おう」がある。(1P)</p>	<p>【単元名】合同な図形 ○日常の事象や既習事項から問題を見いだす「単元とびら」がある。(1P) 合同な三角形を横にならべて、テープのような形にしきつめる。 【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○三角形の3つの角の大きさについて調べてみましょう。 ・どんな三角形でも、3つの角の大きさの和は180°になりますか。自分で形や大きさを決めて三角形をかき、\squareの①や②のしかたで調べてみましょう。 【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさの和を求めてみましょう。 ・四角形を三角形に分けて調べて、4つの角の大きさの和が360°になることを説明しましょう。 【まとめ】 ○四角形の4つの角の大きさの和は360°です。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形→六角形・七角形→八角形 【単元末の工夫】 ○日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する「学びをいかそう」や仕事と算数との関わりを記した「ひろがる算数」がある。</p>	<p>【単元名】びったり重なる形と図形の角を調べよう ○操作活動や既習内容の振り返りや関連付け等から新しい学習への素地づくりを行う「単元アプローチ」がある。(1P) 合同な三角形なら、どんな形でもしきつめられるのか、3種類の三角形で考える。 【三角形(帰納的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○三角形の3つの角の大きさには、どのようなきまりがありますか。 ・いろいろな形の三角形を紙にかいて、3つの角の大きさの和を調べましょう。</p> <p>【四角形(演繹的な考え方)】 課題提示○と主な発問・ ○四角形の4つの角の大きさの和は、何度になりますか。 ・考えを発表し合い、四角形の4つの角の大きさの和について話し合いましょう。 【まとめ】 ○四角形の4つの角の大きさの和は360°です。</p> <p>【多角形への発展】 ○五角形・六角形→七角形→八角形・九角形 【単元末の工夫】 ○作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活用して、算数と生活の関連を示す「Hello Math」がある。</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林	116 日文
内容の構成・ 配列・分量	<p>【単元や資料等の配列】</p> <p>○習熟に時間を要する内容やスパイラルに学習することが有効な内容については、2つの単元に分けて段階的に取り扱っている。</p>	<p>【単元や資料等の配列】</p> <p>○目次に各単元に関連する既習や以降の学習を記載し、学びの系統がわかりやすくなっている。また、他教科との関連がある学習や、合科での扱いが可能な学習には他教科リンクマークをつけるなどしている。</p>	<p>【単元や資料等の配列】</p> <p>○目次で、関連のある既習単元のつながりを提示し、系統的な配列が見えるようになっている。また、既習事項が明白な単元小単元の導入では解答や解説が見えない構成になっている。</p>	<p>【単元や資料等の配列】</p> <p>○「はてな」「なるほど」「だったら」という言葉を用いて、問いの連続を意識した単元構成にしている。また、学年を越えて学び直しができるように「学びのマップ」「学びの手引き」を設けている。</p>	<p>【単元や資料等の配列】</p> <p>○目次で、単元内容とそれに関連する全学年までの既習事項が示され、系統をふまえて学習内容が概観できるようになっている。また、「これまでに学んだこと」「この本でまなぶこと」「学びのサポート」の3つの項目に分けて示されている。</p>	<p>【単元や資料等の配列】</p> <p>○低学年は単元を分散的に構成し、同じ内容が長い期間続かないようにし、高学年は関連する内容をまとめた配列にしている。また、単元前には「次の学習のために」を設け、既習事項を確認してから新しい学習が始められるようにしている。</p>
単元や資料等の配列 (単元の配列、 ページ数・単元 数、冊数・重さ)	<p>【ページ数・単元総数】</p> <p>○低学年平均215P 中学年平均310P 高学年平均295P 単元総数98</p>	<p>【ページ数・単元総数】</p> <p>○低学年平均210P 中学年平均275P 高学年平均279P 単元総数100</p>	<p>【ページ数・単元総数】</p> <p>○低学年平均241P 中学年平均311P 高学年平均312P 単元総数120</p>	<p>【ページ数・単元総数】</p> <p>○低学年平均229P 中学年平均322P 高学年平均291P 単元総数97</p>	<p>【ページ数・単元総数】</p> <p>○低学年平均233P 中学年平均304P 高学年平均299P 単元総数107</p>	<p>【ページ数・単元総数】</p> <p>○低学年平均235P 中学年平均308P 高学年平均297P 単元総数100</p>
中学校との関連 に関する内容の 記述 (中学校との接 続に関わる記述)	<p>【冊数・6年教科書重量】</p> <p>○1～5年2冊 6年1冊 6年475g</p> <p>○1年では、幼保小の接続を意識し、入門期に特化した、ノート機能を備えた大判(A4判)の分冊がある。</p>	<p>【冊数・6年教科書重量】</p> <p>○各学年1冊 6年440g</p> <p>○全学年1冊の合本とし1年間の指導の見通しをたやすくしている。</p>	<p>【冊数・6年教科書重量】</p> <p>○1～6学年2冊 6年485g</p> <p>○6年には「見方・考え方」を振り返り中学校の内容に触れる別冊がある。</p>	<p>【冊数・6年教科書重量】</p> <p>○2～4年2冊 1・5・6年1冊 6年450g</p>	<p>【冊数・6年教科書重量】</p> <p>○2～4年2冊 1・5・6年1冊 6年485g</p>	<p>【冊数・6年教科書重量】</p> <p>○1～5年2冊 6年1冊 6年475g</p>
ページ数、6年 発展的な内容ペ ージ数)	<p>【中学校との関連に関わる記述】</p> <p>○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述1.5P</p> <p>○6年発展的な内容7.5P</p>	<p>【中学校との関連に関わる記述】</p> <p>○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述2.5P</p> <p>○6年発展的な内容10.75P</p>	<p>【中学校との関連に関わる記述】</p> <p>○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述8P</p> <p>○6年発展的な内容33.5P</p>	<p>【中学校との関連に関わる記述】</p> <p>○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述1P</p> <p>○6年発展的な内容9.5P</p>	<p>【中学校との関連に関わる記述】</p> <p>○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述2P</p> <p>○6年発展的な内容6.5P</p>	<p>【中学校との関連に関わる記述】</p> <p>○6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述1P</p> <p>○6年発展的な内容13.25P</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林	116 日文
内容の 表現・表記	<p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター（ますりん）や6人の児童の吹き出しを配置している。各時の終わりにページの下方に学習を価値付けたり、次の学びを創り出したりする児童の姿が表されている。</p>	<p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター（うさぎ）や6人の児童、先生の吹き出しを配置している。</p>	<p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター（ロボット・モンスター9）や4人の児童の吹き出しを配置している。モンスターは、見方・考え方を意識させようとしている。</p>	<p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター（どんぐり）や4人の児童の吹き出しを配置している。</p>	<p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター（えんぴつくん）や4人の児童の吹き出しを配置している。</p>	<p>【イラスト・吹き出し・キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター（りす）や6人の児童の吹き出しを配置している。</p>
イラスト・写真・吹き出し等の活用 (キャラクター等の活用、視覚資料・図表等の扱い、デジタルコンテンツの扱い)	<p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】</p> <p>○文字の視認性にすぐれたUD教科書体を使用し、節で改行して読みやすくしている。重要語句は太文字に加え波下線を付けている。ページ番号は単元ごとに色を変えている。</p> <p>【デジタルコンテンツ】</p> <p>○表紙裏にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数85) 対応する箇所にはDマークを示している。</p>	<p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】</p> <p>○全面的にユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすい位置で改行している。ページの右上に単元名を記載したインデックスがあり、領域別に色を変えてある。</p> <p>【デジタルコンテンツ】</p> <p>○『楽しい算数』の使い方にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数88) 対応する箇所には、デジタルコンテンツマークを示している。</p>	<p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】</p> <p>○大きさをAB判にし、開きやすく読みやすくするとともに、作業部分を広くしている。主要な本文書体には独自に開発した書体を使用している。絵図に立体感がある。</p> <p>【デジタルコンテンツ】</p> <p>○対応する箇所にある二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数33)</p>	<p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】</p> <p>○文字の視認性に優れたUD教科書体を使用している。読みやすい改行をしている。</p> <p>【デジタルコンテンツ】</p> <p>○「学びの手引き」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数57) 対応する箇所には、「まなびリンク」マークを示している。作図の手順も連続写真(動画にリンク)示されている。(左利きにも対応)</p>	<p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】</p> <p>○教科書体を基本とし、UDフォントを使用している。10のまとまりはタイトルでなく教え棒で示している。1年「わくわくすたあと」の部分は書き込んだり消したりしやすいように特別な用紙を使用している。</p> <p>【デジタルコンテンツ】</p> <p>○対応する箇所にある二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数370)</p>	<p>【視覚資料・図表等の扱い・読みやすさ】</p> <p>○開発した教科書体を使用。すべての文章を読みやすい位置(文節)で改行している。</p> <p>【デジタルコンテンツ】</p> <p>○目次にあるURLからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、Webマークを示している。(コンテンツ数41)</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林	116 日文
言語活動の 充実	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○特設ページ「学びのとびら」(2P)を設け、「友だちと学ぼう」等の学習活動ごとに観点を示し、また、単元の中の「今日の深い学び」においても観点を示し、学習内容と関連づけている。</p>	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○特設ページ「算数まなびナビ」(2P)を設け、「学び合おう」等の学習活動ごとに観点を示し、また、単元の中の「学び合おう」においても観点を示し、学習内容と関連づけている。</p>	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○特設ページ「3つの学び方で学習を進めよう」(2P)を設け、「主体的な学び」「対話的な学び」等の内容を示し、学習内容と関連づけて説明している。</p>	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○特設ページ「学習の進め方」(2.5P)を絵と言葉で具体的に示し、また、その活動の観点を単元の中でも示し、学習内容と関連づけている。</p>	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○特設ページ「学習の進め方・わくわく算数学習」(4P)で、学習の進め方を学習内容と関連付けて示している。また、上巻末の「資料集」で説明の仕方等を示し、説明している(2P)。</p>	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○上巻頭(1年のみ下巻頭)に特設ページ「算数の学習の進め方」(1P)で概要を示し、上巻末に切り取って使えるシート「学び方ガイド」(1枚)を付けている。また、単元の中の「自分でみんなで」においても観点を示し、学習内容と関連づけている。</p>
数学的な表現 を用いて自分の 考えを説明 する活動の工夫 (学習の流れと説明した り話し合ったりする活動の 記載例、記載 挿入単元数)	<p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—0, 2年—1 3年—3, 4年—3 5年—3, 6年—3</p>	<p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—0, 2年—1 3年—1, 4年—1 5年—1, 6年—1</p>	<p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—0, 2年—0 3年—0, 4年—0 5年—0, 6年—0</p>	<p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—0, 2年—2 3年—2, 4年—2 5年—2, 6年—2</p>	<p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—0, 2年—0 3年—0, 4年—0 5年—0, 6年—0</p>	<p>(記載挿入単元数)</p> <p>1年—2, 2年—4 3年—4, 4年—4 5年—4, 6年—3</p>
思考を深める ための記述の 工夫(ノート 指導の扱いと 記載例、ペー ジ数)	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「算数マイノートをつくろう」「算数マイノートを学習に生かそう」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントや学習の感想を説明している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—1P, 2年—4P 3年—8P, 4年—8P 5年—8P, 6年—8P</p>	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「算数まなびナビ～ノートのかき方～」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—1P, 2年—2P 3年—2P, 4年—2P 5年—2P, 6年—2P</p>	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「考えるノート」「まとめるノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—0P, 2年—3P 3年—3P, 4年—4P 5年—3P, 6年—3P</p>	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「友だちのノートを見てみよう」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—0P, 2年—4P 3年—4P, 4年—4P 5年—4P, 6年—4P</p>	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「考えがよくわかる わくわく算数ノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—0P, 2年—2P 3年—2P, 4年—2P 5年—2P, 6年—2P</p>	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「算数ノートをつくろう」「つなげよう! 学びとノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—2P, 2年—4P 3年—4P, 4年—4P 5年—4P, 6年—2P</p>